

きずな通信 No.22



2016年9月1日
発行 みやぎ地域づくり交流会
事務局 宮城公民館内

地域づくりは人づくり、ふるさとづくり

まえばし23地区が

交流フェスタ開催

地域自慢の特産品や

音楽で親睦深める

前橋市市内23地区の地域づくり協議会で構成する「前橋地域地域づくり連絡会」は6月17日にまちなかの中央イベント広場で交流フェスタを開催した。各地区の会員がステージ発表や地域特性を生かした飲食物でもてなした。みやぎ地区では独自に考案したゆるキャラTシャツや地元の若葉高等学園様と共同制作したキャラクタークッキーを販売。また野外ステージでは上州みやぎ和太鼓桜吹雪（小柴和子代表）が力強い和太鼓を披露した。その力強い音を聞きつけ通りすがりの家族連れが多数訪れ大変賑わったフェスタとなった。フェスタは今年で10年の節目を迎え多くの人が訪れるよう、市総合福祉会館から中心街に会場を移した。

（大崎博之 記）



上州みやぎ和太鼓桜吹雪の皆さん



ゆるキャラTシャツの販売

交流フェスタを
振り返って

7月26日 前橋テルサで交流フェスタの反省会に参加しました。みやぎ地区からは、石橋利明さん、井上憲明さん、大崎博之さんの3名が出席しました。前橋23地区の活発な意見が交わさ

れ、「次回もまちなか中央広場でやりたい」という意見が多く来年度に向けた各地区の出し物の意気込みが感じられました。今回の飲食・物産ブースの販売売上では、みやぎ地区（Tシャツ、クッキー）の売上が他地区よりも一番多く大変好評を得ました。



会議後の楽しい懇親会



（例）木札や革製品など展開…？

ゆるキャラの
焼き印の紹介

みやぎ地域づくり交流会では、ゆるキャラの宣伝と地域活性化を狙いとした、商品開発の企画を検討してきました。その中で、商品にゆるキャラのマークを入れてみてはと、ゆるキャラの焼き印を作りました。第1弾として若葉高等学園様との共同企画によるクッキーが実現できました。（秋のいいもん祭りで販売予定）今後も色々な商品の企画を考えていきたいと思います。



みやぎ七字クッキー



納涼祭参加

毎年恒例の納涼祭に今年度も協力参加し、「数当てドン」のお手伝いと「Tシャツ」の販売・エコキップの回収を行いました。数当てドンには、230人ほどが参加していただき、上位10人に賞品が送られました。



結果発表を行う大崎君と洪澤君



オリジナルソングを披露する岩淵さん

また、地域づくりオリジナルTシャツも好評で多くの皆さんに購入していただきました。ブース前には、きずな通信で紹介した岩淵健二さんがギターを持って来場し、即興の歌を披露参加してくれた皆さんを笑わせてくれました。

(上野 記)

荒砥川の源流を探る

7月17日に、城南地区との合同による荒砥川の源流探訪の下見会に参加しました。場所はパノラマ峠より少し下の電波塔より入り、20〜30分歩いた所にあります。前の日に雨が降った為、足元が悪く危ない所も多々ありましたが、晴れた日が続けばかなり歩きやすいと思います



上流



下流



(洪澤 記)



七子ファミリー きずな劇場 第14話

赤城の山も 今宵限り：伝々

もっしき中秋の名月 十五夜じゃな...

中秋の名月とは旧暦の 8月15日、今年は9月 15日が十五夜じゃ

おだんこ うまげ...

みよちゃん 旅支度なんかして どこかへ行くの？

おすれもめ ないかな

ほろー満月の夜は 月からお迎えが 来るかもしれない でしょう？

そ...そ...

作：みめろし 画：稲澤ゆえ

©みやぎ地域づくり交流会



宮城地区 石の伝説 最終回

あ・うんの石仏

宮城地区 石の伝説 最終回
あ・うんの石仏
連載してきた石の伝説も、ネタ不足になったので、伝説はないが珍しい石造物を紹介して、このシリーズの最終回としたい。

馬場町稲荷神社前の墓地に、目、鼻、口が荒彫りされた凝灰岩の一对の石造物「あ・うんの石仏」が佇んでいる。あ・うんとは、50音表でも分かるように、「あ」は口を開け呼吸を始める「生」、「ん」は口を閉じ呼吸を終わる「死」、つまり「始めと終わり」「生と死」を意味し、神社の狛犬、お寺の山門の仁王像は、みな、この形相で境内を護っている。

この石仏の呼び名は、宮城地区の文化財保護に多大な業績を遺した上野丑之助さんが、昭和54年4月に命名したものであるが、苦むしたユーモラスな石仏を訪ねるたびに、的確な名称であることを実感する。

素朴ではあるが、他では見られない貴重な石仏なので、機会をみてぜひ訪ねてほしい文化財である。(五百部 記)